

高橋ゼミ

村上ゼミ

愉快的ゼミの仲間



学部3年生



学部4年生

👉 大学院

▶ 修士課程

田中, 松田, 大工園, 狩行

▶ 博士課程

大澤先生 (SPセンター),
中村, 田代 他数名

テニス部だけでなく, バレー部も在籍!
大学院生も多数在籍しているため,
卒業研究をバックアップ!

主な活動内容

高橋ゼミ・村上ゼミでは...

👉 主にスポーツのゲーム戦略・戦術を分析しています!

～キーワード～

▶ ゲームパフォーマンス分析

▶ Performance Analysis

👉 試合や練習の映像を使って分析し,
競技現場で役立つようなデータを算出!

分析したことを, 実践での活動に活かそう!

学部4年の藤田さんは,

バレー部では「**アナリスト**」

として活躍中!

スポーツアナリストを目指す人
におすすめのゼミです!



SPLYZATeams
((株)SPLYZA)

知りたい! と思ったことを自由に分析!

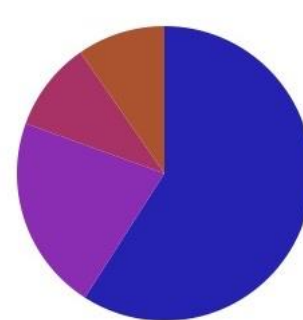
このソフトでは...

✓ 試合や映像へのタグ付け

✓ データの集計, 分析

などなど, 多くの機能があるよ!

「サーブ時の戦術」の集計結果



雁行陣

タグ合計 518

306 59%

アイフォーメーション

111 21%

スイッチ

51 10%

サービスダッシュ

50 10%

iPhoneや
iPadでも
簡単に分析が
可能だよ!



ゼミの日常

週に1回の勉強会



仲間・大学院生・先生方と
一緒に学び合おう!!

ジュニア向けの強化合宿



分析を指導に活かす!!

部活動



ゼミでの学びを部活動に!!
競技力向上だ!!

海外での学会発表



日本や世界各地での
学会発表へ一緒に行こう!!

ゼミ生からのメッセージ

学部4年生:村上くん



テニス部キャプテンです!
同じ部活動のゼミ生や
監督・コーチでもある先生方の
意見はすごく新鮮なので,
すぐ部活動に取り入れています!

ゼミ生の仲間や先生方は
私と違う競技を専門としています!
違う競技の戦術・戦略の考え方は
とても面白いですよ!



学部4年生:藤田さん

学部3年生:浅野くん



分析して数字にしてみると
いろいろな発見があって,
数学が苦手な僕でも
すごく楽しく活動してます!

大学院生は学部生の
勉強会にも参加します!
困ったことがあれば, なんでも
僕におまかせ!!!!



修士2年:松田くん

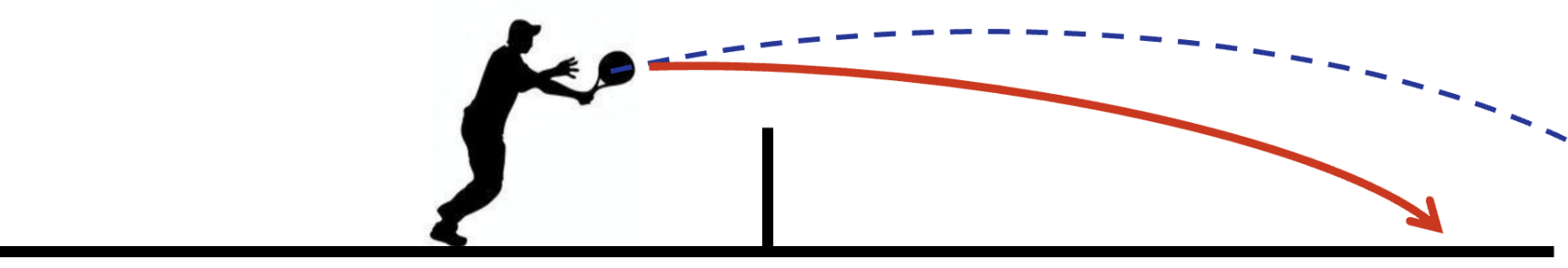
研究キーワード

- ・ゲームパフォーマンス評価
- ・競技力向上
- ・コーチング
- ・テニス
- ・Performance Analysis
- ・システム開発
- ・測定評価
- ・ゲームパフォーマンス分析

主な研究紹介～大学院生（修士）ver.～

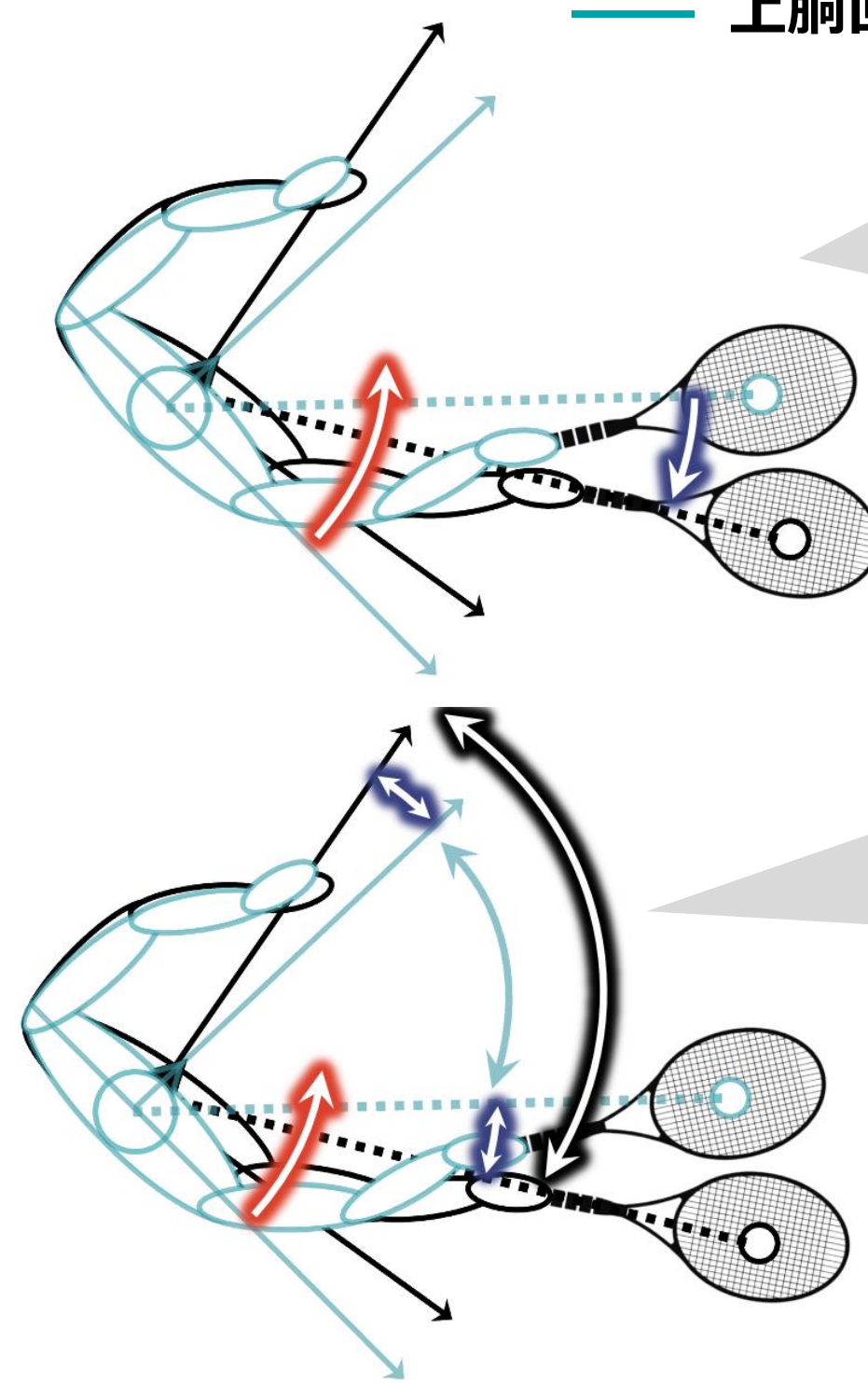
【テニスのフォアハンドボレーにおける上肢動作の特徴】 松田佳親

ボレー（ノーバウンドで返球する技術）



✓ ボレーは
コンパクトなラケット動作が必要

熟練者及び非熟練者の上肢動作について
特徴を**詳細**に分析することを目的とした



上腕の回転に対して、
テイクバックを完了する
タイミングが非熟練者は
わずかに遅い！

テイクバック完了までの
時間の差が大きな角度差を
生んでいる！

【バレーボールのレセプションアタックにおけるレフト攻撃の成否に関わる要因】 田中響

-2.5 -2 -1.5 -1 -0.5 0 0.5 1

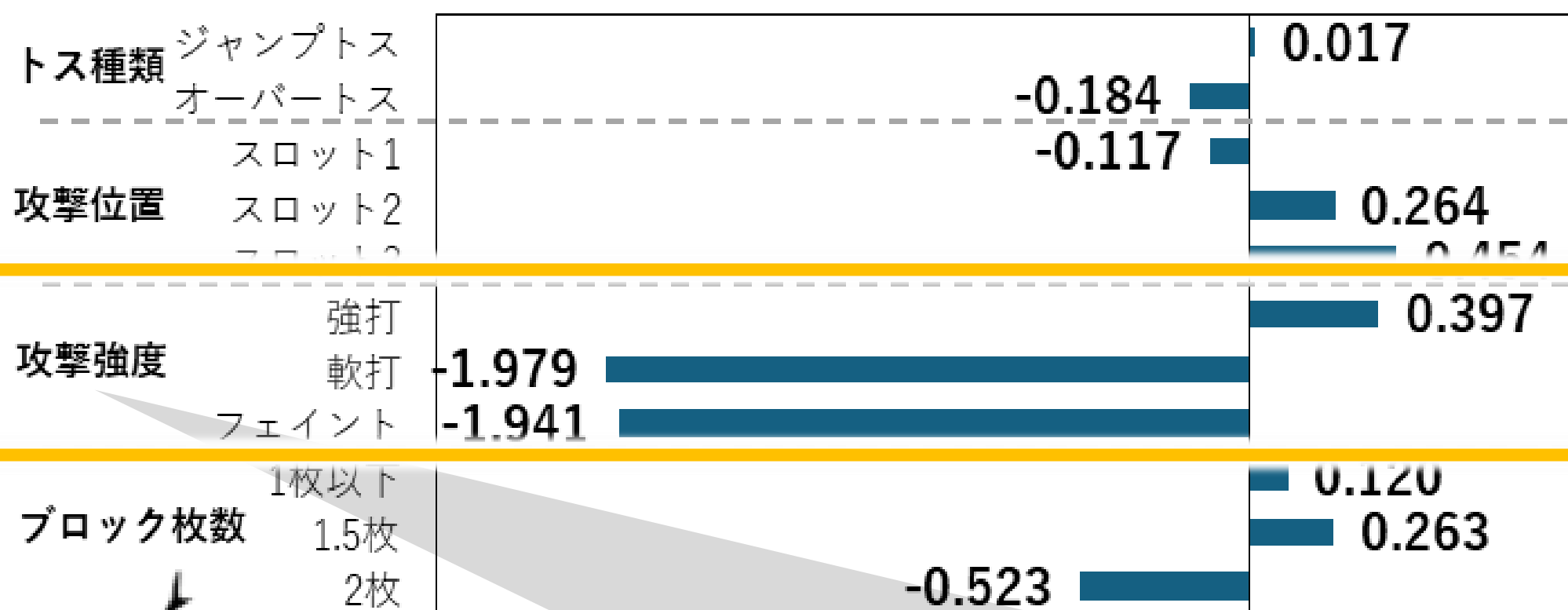


図1 アタック結果への貢献度（Vリーグ）

-2.5 -2 -1.5 -1 -0.5 0 0.5 1

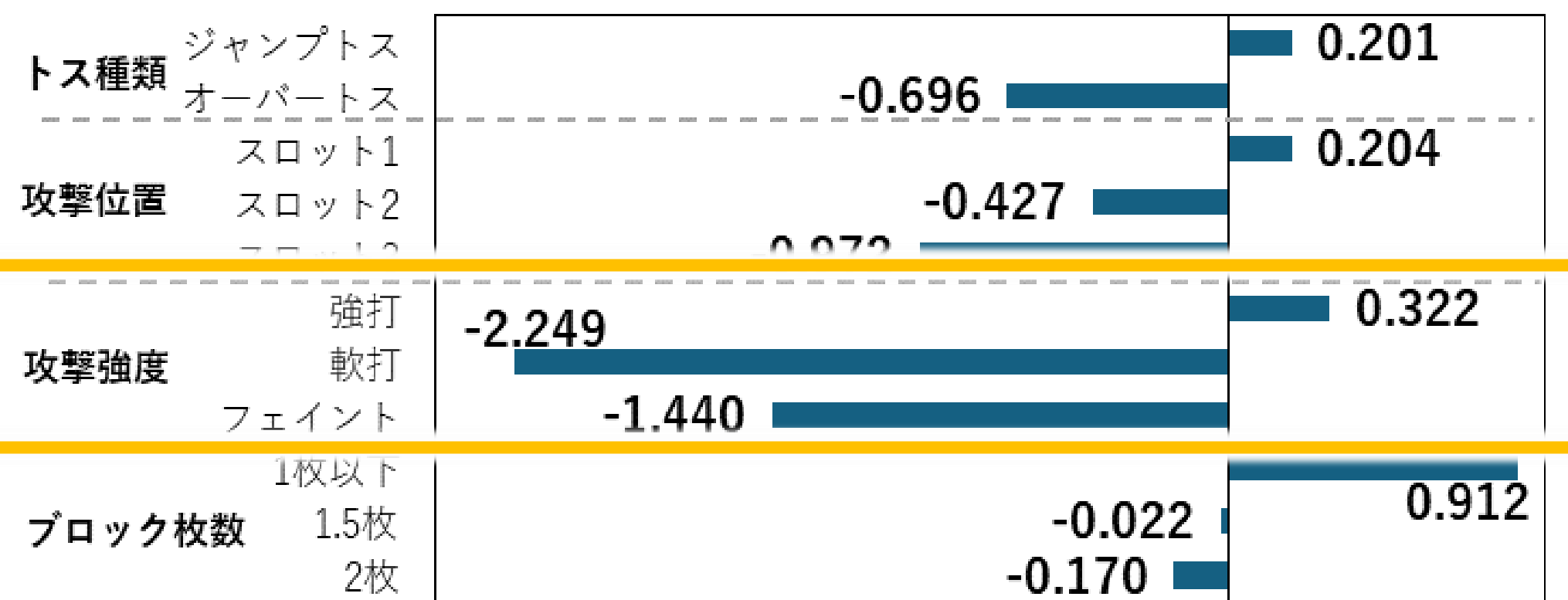


図2 アタック結果への貢献度（大学リーグ）

国内トップリーグであるVリーグも、大学リーグも、
アタックで得点するためには「**強打すること**」が一番重要！

【バレーボールにおける国内トップのリベロ選手に関する研究】 大工園彩夏

【対象者】

- ▶ 競技歴：22年，リベロ歴14年，身長：158cm
- ▶ 主な戦績：第17回世界ジュニア準優勝(2013),ベストリベロ
第28回ユニバーシアード3位(2015)
第29回ユニバーシアード2位(2017)
AVCアジアクラブ選手権

インタビュー調査

- ▶ トップ選手になったきっかけ
- ▶ レセプションのコツ
- ▶ ディグのコツ

① トップ選手になったきっかけはありますか？

きっかけはアジアクラブ選手権です。私には出場機会がありませんでした。**なぜ自分が試合に出ることができないのか、監督に聞きに行きました。**

すると監督から、「お前が入るとチームがバタバタする」でした。**私にはその自覚が無かった**ので、その時に、ただボールを上げるだけではダメなことに気づけました。

② レセプションのコツはありますか？

キーワードは「**上半身の角度**」です。私は、(上半身の角度が)前すぎてもダメだし、後ろすぎてもダメで、私の中での角度感があります。この角度を保つことが大事で、サーブボールがどこに来て**上半身の角度を保つ**ようにしています。

③ ディグのコツはありますか？

ディグは、**迎え入れたい**ね。そのために、股関節を使います。**股関節で吸収するタイミング**が大事だと思うかな。私が感覚悪くなる時は、股関節で吸収するのができていなかったり、タイミングが早かったり、遅かったりしています。

きっかけ：「お前が入るとチームがバタバタする」
→監督の助言が気づきとなり、行動や考え方を換え、競技力向上に繋がっている。

レセプション：上半身の角度を保つことが重要

ディグ：「迎え入れたい」「股関節を使う」

→スパイクされたボールの勢いを抑える方法として、**下肢を連動して使う必要がある。**